

1

フィリップモリス ジャパンの紹介

会社概要

PMJのビジョン

数字で見るPMJ

社長メッセージ

フィリップ モリス ジャパン 合同会社 Philip Morris Japan Limited (PMJ)

設 立	1985年
代 表 者	シェリー・ゴー (Shea Lih Goh) 社長
従 業 員	約1,900名
ブランド	紙 巻 た ば こ : Marlboro (マールボロ)、Lark (ラーク)、Parliament (パーラメント)、Virginia S. (バージニア・エス) 加熱式たばこ : Marlboro (マールボロ)、HEETS (ヒーツ)、TEREA (テリア) 加熱式たばこデバイス : IQOS
国内たばこ市場シェア	37.1% (2020 年末現在)
フィリップ モリス ジャパン合同会社は、フィリップ モリス インターナショナルの日本における子会社で、日本で販売されるフィリップ モリス社製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。	

フィリップ モリス インターナショナル Philip Morris International Inc. (PMI)

設 立	1847年 英国でフィリップ モリス社として設立
本社所在地	米国・ニューヨーク市
統 括 本 部	スイス・ローザンヌ
代 表 者	ヤチェック・オルザック (Jacek Olczak) CEO
従 業 員	77,000名以上
ビジネスを展開している マーケット	約180か国 (製造工場拠点 : 50か所)

フィリップ モリス インターナショナルは、世界の紙巻たばこ上位15ブランドのうち、全世界で売上No.1を誇るマールボロを含む6つのブランドを有しており、世界の約180か国で製品を販売しています。

煙のない社会を、ここ日本で フィリップ モリス ジャパンのビジョン

私たちのビジョンは、紙巻たばこすべてを煙の出ない製品に切替えていくことです。
紙巻たばこの成人喫煙者の多くが喫煙の満足感を得られる害の少ない製品を求めています。

そこで、私たちは喫煙を続ける人々に新たな選択肢を提供していきたいと考えています。

そして、社会が私たちに期待することは、たばこの煙のない社会の実現です。

当社では、社員一丸となって、煙を出さずに楽しむことができる革新的な製品を開発してきました。

すでに世界中で1,490万人以上の方々に紙巻たばこから、

この革新的な製品に切替えていただいています。

当社が思い描く将来を象徴する製品を育てていくために、

今後も私たちは研究開発に投資していきます。

時代が大きく変化していく中、私たちは流れに身をゆだねるのではなく、

私たちは、会社の新しい方向性を打ち出し、大きな一歩を踏み出しました。

紙巻たばこビジネスの成功を糧に、この大胆なビジョンを追求してまいります。



フィリップ モリス ジャパンについて

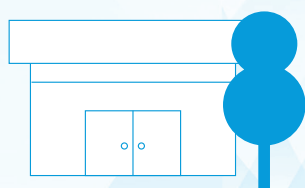
フィリップ モリス ジャパンは、米国を除く世界各国でたばこ事業を展開する世界屈指のたばこ会社であるフィリップ モリス インターナショナルの日本法人です。加熱式たばこ「IQOS(アイコス)、IQOS ILUMA(アイコス イルマ)」をはじめ、マールボロ、ラーク、パラメント、バージニア・エスといった、フィリップ モリス社製品のマーケティングおよび販売促進活動を行っています。当社は1985年に日本で事業を開始して依頼、着実に成長を遂げ、今日では全国に約1,900名の従業員を擁し、日本のたばこ市場で約37.1%のシェア(2020年末現在)を有する日本第2位のたばこ会社となっています。当社は「煙のない(スモークフリー)社会を、ここ日本で」の実現をビジョンとして掲げ、変革を推進しています。

2020年9月末日時点

• IQOSストア •

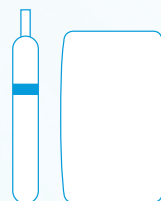
9

所在地：札幌、仙台、東京、
名古屋、大阪、広島、福岡



• IQOSユーザー数 •

600 万人



※ PMI 2020年第3四半期報告に掲載の2020年9月末日の数値。PMI財務資料／試算IQOSユーザーパネル当社市場調査に基づく

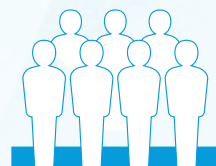
• 従業員の国籍数 •

26



• 全従業員 •

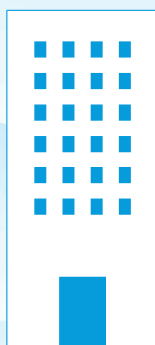
1,907 人



(うち1,490人が現場営業に従事)

• オフィス •

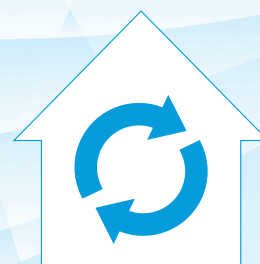
7



所在地：東京(本社)、
札幌、仙台、名古屋、
大阪、広島、福岡

• リサイクル拠点 •

2



「煙のない社会」の実現に向けて

**私たちのビジョンは、いつの日か煙の出ない製品が
紙巻たばこに取って代わることです。**

害ある紙巻たばこの煙を発生させない。煙の出ない製品を開発することで、一日も早く、数万人規模の成人喫煙者をこれらの製品に切替えることを目指しています。私たちの旅は2014年、IQOSを初めて日本市場に導入したときから始まりました。今日では、日本で約600万人のユーザー※1がいて、そのうち440万人が喫煙をやめてIQOSに完全に切替えた※2と試算しています。禁煙に代わる代替はありませんが、成人喫煙者に満足感のある、より良い選択肢を提供することは公衆衛生上、大きな意義があると考えています。「煙のない社会」を目指して変革を推進するうえで、次の事業の柱としています。

※1 IQOSユーザーとは、過去7日間でIQOS専用たばこスティックを少なくとも5%、日常的に消費している成人喫煙者（2020年9月末日時点）

※2 喫煙をやめてIQOSに完全に切替えたユーザーとは、直近7日間における全たばこ製品消費量のうち、IQOS専用たばこスティックの割合が7割以上である加熱式たばこに完全に切り替えた成人喫煙者（2020年9月末日時点）

最高品質の製品とカスタマーケアプログラムを提供すること

多様化するお客様ニーズに応えるべく、私たちは最高の製品とサービスを提供し続けます。IQOSを市場に導入したことで、私たちの会社にとって画期的な新時代を切り拓きました。IQOSデバイスを最新モデルへ進化させるとともに、多くの味わい・ラインアップを提供することでさまざまなお客様の需要に対応しています。私たちの目標は、お客様にとって長期的な価値を創造し、常に進化するカスタマーケアプログラムを通じて、IQOSへの切替え体験ができる限りスムーズであるよう努めることです。

インクルージョンとダイバーシティの推進

私たちの事業変革のコアとなる人材がさらに活躍できる環境、つまりインクルーシブな企業文化の醸成と人材の多様化を進めていきます。公正公平な機会、そして他社を尊重する精神をもって、すべての社員が最高のパフォーマンスを発揮できる多種多様な職場環境を構築していきます。

社会との対話の継続

私たちは、信頼性と責任を基盤として事業を推進していきます。社会的役割とニーズを理解し、政策決定者や多くのステークホルダーと科学に基づいた対話を進めています。ハーム・リダクションの概念を公衆衛生政策の重要な要素と捉え、紙巻たばこを喫煙し続けることより、より良い選択肢への切替えを促すような規制と税制を支持しています。

私たちのビジョンに後押しされる形で、IQOSは私たちの事業を牽引し続け、またハーム・リダクション概念への理解が深まっています。野心的な目標ではありますが、私たちのコミットメントは強固であり、フィリップ モリス ジャパンを支える才能豊かな人材が、「煙のない社会」の実現に向けて、あらゆる困難にも打ち勝っていけると確信しています。

フィリップ モリス ジャパン合同会社 社長
シェリー・ゴー

